

# 埼玉県立文書館 令和3年度企画展



## メッセージ 古物を伝える

— 好古家たちの埼玉 —

会期 令和3年(2021)12月14日(火)

～令和4年(2022)2月13日(日)～

主催 埼玉県立文書館

開館日 火曜日から日曜日まで

但し、毎週月曜日

12/29(水)～1/3(月)

2/11日(金・祝日)は休館

開館時間 9:00～17:00

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更する場合があります。詳細はウェブサイトでご確認ください。

会場 埼玉県立文書館 1階 展示室

観覧料 無料

交通案内 JR浦和駅から 西口下車徒歩15分

または国際興業バス「県庁前」下車3分

JR中浦和駅から 下車徒歩18分

または国際興業バス「県庁前」下車3分



【背景写真】

太政官牒(小室家文書 5695) 『石剣考』(井上家文書 126)

松山城蹟図(写)(小室家文書 740)



さいたまけんりつもんじょかん  
埼玉県立文書館  
Saitama Prefectural Archives

こころ、咲いたまま。



〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 4-3-18

電話 048-865-0112

FAX 048-839-0539

文書館ウェブサイトはこちら→



埼玉県マスコット  
コバトン



「<sup>こうこか</sup>好古家」とは、江戸時代後期から明治時代にかけて、古文書などの古物に関心を寄せ、それらの収集や研究に打ち込んだ人々のことです。埼玉県にも、<sup>ひきぐんばんじょう</sup>比企郡番匠村（現ときがわ町）の<sup>こむろげんちよう</sup>小室元長や、<sup>おおさとぐんかぶとやま</sup>大里郡冑山村（現熊谷市）の<sup>ねぎしたけか</sup>根岸武香など、多くの好古家が活躍しました。

本展では、文書館が収蔵する資料のなかから、好古家たちが集めた古文書や、好古家たちにまつわる資料を紹介し、古物と対話しながら活動した人々のまなざしと、好古家たちが後世へ遺したものの（メッセージ）、伝えてきた想いについて御紹介します。

## 展示構成

### I 集める ～収集～

好古家たちは、コレクションとしての古文書や、地域の歴史を探る記録などを収集・筆写していました。本章では、好古家たちが集めた様々な史料を紹介します。

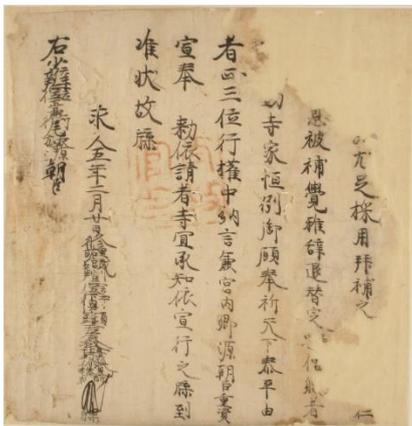
### II 調べる ～研究～

好古家たちは、古物を収集すると同時に、好古家たちのネットワークを通して、それらの調査・研究を進めていました。本章では、研究者としての視点で好古家を紹介していきます。

### III 伝える ～伝来～

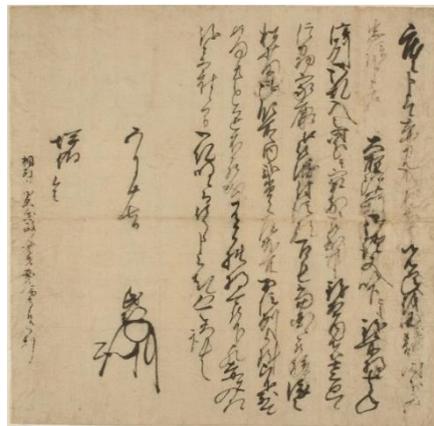
好古家たちが集めたものは、様々な経緯を経て現代へと伝えられてきました。本章では、近代以降の文化財保存という視点に立って、好古家たちの動向を紹介します。

## 【主な展示資料】



だじょうかんちよう  
太政官牒

小室家文書 5695 永久 5 年(1117) 2 月 20 日



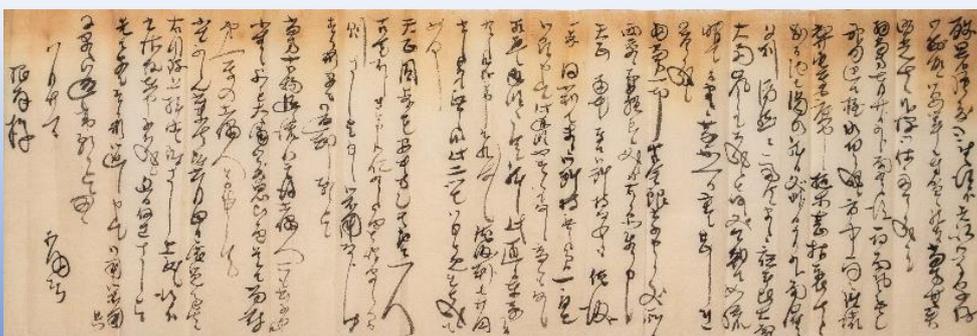
ほうじょううじくに  
北条氏邦書状

小室家文書 5700 [天正 11 年(1583)]5 月 17 日



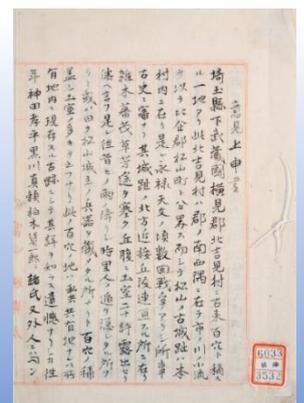
E.S.モースからの感謝状

根岸家文書 5256 明治 16 年(1883)



まつうらたけしろう  
松浦武四郎書簡

根岸家文書 5057 [明治 9 年(1875)]8 月 21 日



意見上申書 (百穴保存二付)

根岸家文書 3532 明治 21 年(1888) 5 月